

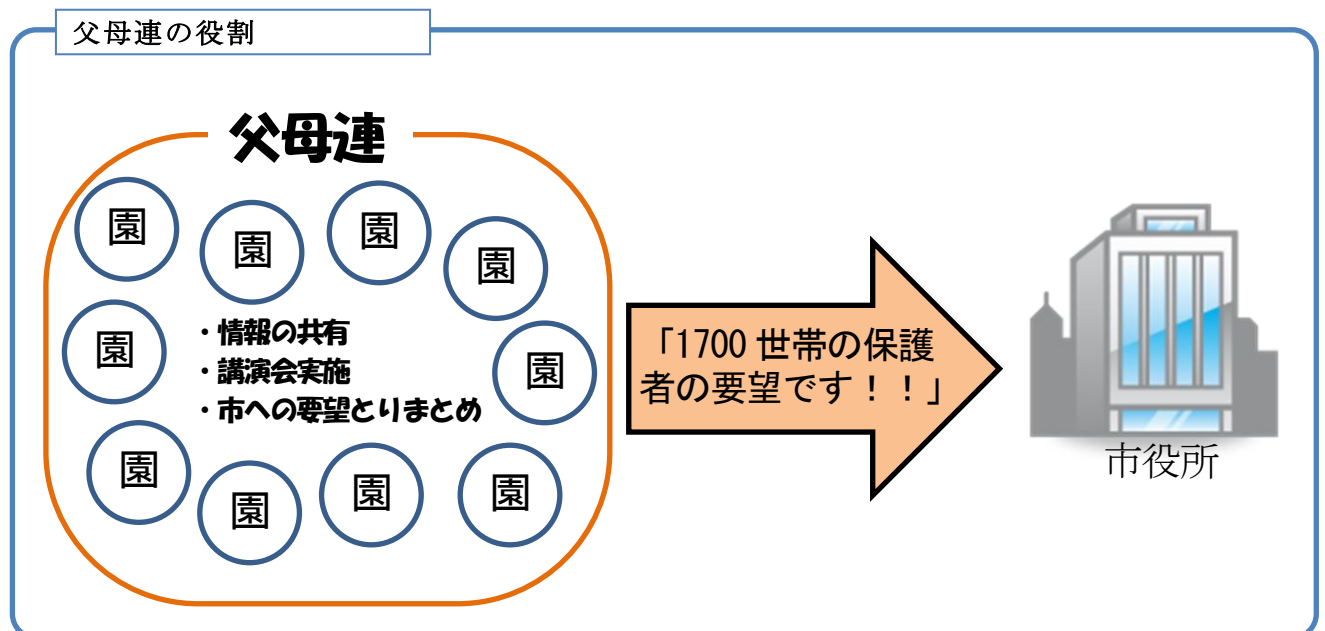
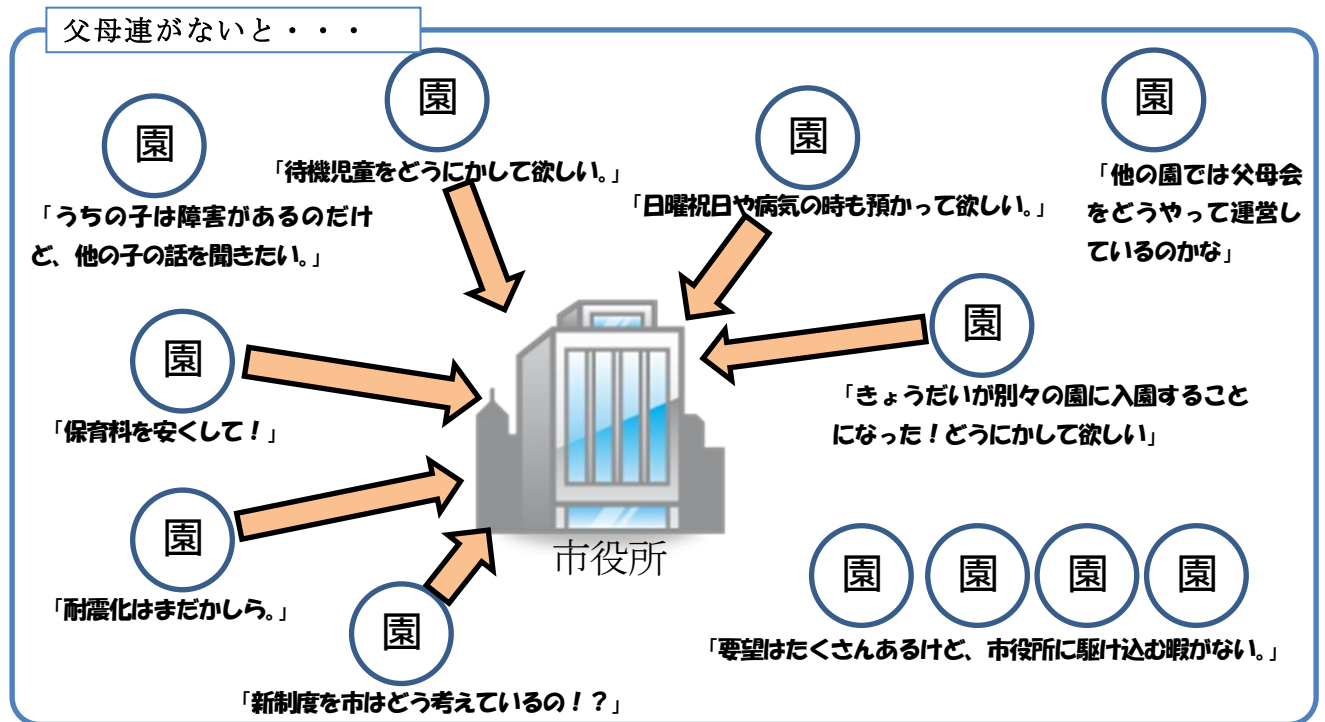


こんにちは！

草加市保育園父母会連合会 ふ・ぼ・れ・んです！

父母連って？

埼玉県草加市には公立・認可合わせて35の保育園があります。（平成29年4月1日現在）
 高い保育料のこと、定員の都合できょうだいが別々の保育園に通わざるをえないこと、障がいのある子の保育のこと、保育園に入れないで「待機児」とされていること、保育園予算のこと、ひとつの保育園では解決できないことをみんなでもちよって、みんなで解決しようとする集まりが「草加市保育園父母会連合会」です。現在、公立18保育園の父母会が加盟しています。



なお、近隣4市（八潮、三郷、越谷、川口）には、わたしたち父母連のような組織は無いそうです（2013年4月30日現在）。



父母連の主な活動内容

代表者会議	各父母会からの代表者が月に1度集まり、父母連を運営しています。各園が持ち寄った課題解決に向け取り組んでいます。
会長会	各園の会長さんが年に3回集まり、各園の近況報告や困っていることなどを話し合っています。いくつもの課題が解決されてきました。
草加子育てのつどい	子育て関連団体のパネル展示、講演会、子供劇場のイベントを年に1回主催しています。
母親大会	草加母親大会に参加し、保育に関連する分科会を担当しています。
市役所との連携	保育課の課長さんをはじめとした市役所の関係各部署と連携を取り、課題解決に向け質問を投げかけたり、お願いを申し入れたりしています。
育成保護者交流会	育成保育対象児の保護者の方々が集まり、園の垣根を越えた情報交換や、世間話などをざっくばらんに行う会を年に1度開催しています。
子育て関連団体との連携	草加元気っ子クラブ（学童保育）、NPO おやこ劇場、NPO さくらんぼ、教育関連組織、保育士労働組合、家庭保育室連絡会など市内の子育てに関わるたくさんの人たちと意見交換をしています。幼稚園や民間認可保育園との協力体制は今のところ薄いですが、今後連携を密にしていきたいと考えています。
議員さんとの交流	市議会議員、県議会議員、国会議員の方々と接する機会が多いので、困っていることなどを議会で取り上げていただくこともあります。
その他	そのほか、保育園保護者の代表として市の委員会に出席するなどの活動を行っています。

父母連のこれまでの働きかけの結果

- ・全保育室へのエアコンの整備（1999年）
- ・延長保育の開始（1999年から指定園で実施。現在13園まで拡大）
- ・市の保育園統廃合方針の撤回（2000年）
→草加の父母連のような組織がない川口市や越谷市では、保育園の統廃合が進みました。
- ・「協力期間」のとりやめ（2002年から）
- ・障がい児保育（育成保育）の全園での実施（2004年）
- ・産休明け保育の実施（2004年度からきたうら保育園で）
- ・0歳児保育廃止方針の休止（2008年）
→市は、保育園での0歳児保育を廃止し、家庭保育室へと移行させていく計画を立てました。父母連はこれまで培ったノウハウの喪失や二重送迎といったデメリットを挙げ、今現在はこの方針は休止状態となっています。
- ・栄養士削減方針、技能員外部委託方針の休止（2008年）
→市は、コスト削減のため栄養士を削減し、技能員を外部委託する案を立てましたが、父母連は保育の質を維持・向上させるためにも市職員での採用を要望し休止状態となっています。
- ・幼児クラス（3・4・5才）での主食提供開始（2011年）、完全無料化（2012年）
→これまで、幼児クラスでは主食（白米）を自宅から持ち込んでいました。真夏でも冷蔵庫に保管することなく常温保存のものを食べていたので、主食の提供を以前より要望していて、ついに2011年に実現しました。ただ、主食代は父母会で徴収し市へ納めることになっていたので、負担を嫌い主食提供を断念せざるを得ない園もありました。そして2012年、父母連の要望により、市は主食の完全無料化を英断しました。
- ・待機児童解消のための保育園新設（2000年以降、12園870人）
→2014年4月に新たに1園が出来、2015年4月にも更に3園が新設。さらに2016年4月にも2園の新設が予定されています。
- ・園舎の耐震診断開始（2013年）
- ・園舎の耐震工事着手（2014年）